

あなたがたが近づいているのは

2025年6月22日

ヘブル人への手紙 12章18～24節
出エジプト記 19章
申命記 4章11節～6章19節、9章19節

序：古い秩序・契約 = 律法 (v. 18～21) あなたがたが近づいていない
新しい秩序・契約 = 福音 (v. 22～24) あなたがたが近づいている

I. 古い契約

イスラエルが、シナイ山で、神から律法を授けられる 出 19章
" (回顧) 申 4章 ~

手で触れる山、燃える火、黒雲、暗闇、あらし、ラッパの響き、ことばの轟き
聞いた者たちには耐え難い

恐れ、震える
神を見た者は死ななければならない
聖なる神が現れて命令したことには従わなければならない
従うなら、幸せになる 従わないなら呪われる

神に近づくことは死の危険を伴う、恐怖に満ちたものだった (神は義、聖)
律法を守り行うことによって、救われる、幸せになる

あなたがたが近づいているのは、このモーセとイスラエルが通った道ではない

II. 新しい契約 (秩序)

あなたがたが近づいているのは

(1) シオンの山

ダビデが先住民のエブス人から取って、王国の都、中心とした
政治、宗教の中心
ダビデの子ソロモンはそこに壮麗な神殿を建設

(2) 生ける神の都、天にあるエルサレム

地上のエルサレムは一時的
天のエルサレムは永遠
新しいイスラエルが集う場所
キリスト者はその霊的市民、そこを目指して前進する旅人

(3) 無数の御使いたちの喜びの集い

神に仕える御使いは大勢 黙示 5・11、ダニ 7・10
御使いはみな、奉仕する霊であって救いを受け継ぐことになる人々に仕える
ために遣わされている ヘブ 1・14
キリスト信者は、御国において、御使いたちとともに、神を礼拝する

(4) 天に登録されている長子たちの教会

救われる人たちの名は天に登録されている 子羊のいのちの書に
黙示 21・27

先に眠った聖徒たち
今、地上にいる聖徒たち 真の见えない教会のメンバー
後に生まれる聖徒たち 聖なる公同の教会に所属する人々

イエス・キリストは長子
キリストにある者たちにも長子の特権 ∴ 御国の相続人
ローマ 8・17

- (5)すべての人のさばき主である神
 ただし、聖徒たちはさばきを恐れ慄き、不安と恐怖を覚えながら神を仰ぐのではない
 審判者である神はキリストの贖いに免じて、彼を信じる者たちの罪を赦し、義と認め、もはやさばかれることはない、と無罪宣告してくださった
 だからこそ、義にして聖なる神を畏れと感謝をもって崇めるはずである
- (6)完全な者とされた義人たちの霊
 11・40 彼ら＝キリスト以前の昔の信仰者が私たちと別に完全な者とされることはない
 彼らは神の約束を信じた（神はキリストによって約束を成就）
 10・14 キリストは聖なる者とされる人々を一つのささげものによって永遠に完成された
 彼らもまた、信仰によって、祝福された神の御国を受け継ぐ者たちである
- (7)新しい契約の仲介者イエスと注がれたイエスの血
 新しい神の共同体
 新しい契約の仲介者はイエス・キリスト
 かつては、いけにえの子羊の血が注ぎかけられた
 新しい契約では、イエスの血が注がれた（私たちを神のもとに近づける犠牲）
 罪人の罪を贖うためのいのちの代価
 信仰者は罪の赦し、良心のきよめを受ける
 人類最初の流血 cf. アベルの血（兄カインに殺された）
 自分の潔白を訴え、神に報復を願って叫ぶ

Ⅲ. 結び

- (1)私たち自身に与えられている幸いな現実を把握する
 旧い契約では、律法を守ることによって救われる＝無力な人間、誰にも不可能
 新しい契約の下に、罪と死からの救いをいただいている（by 恵み、信仰）
 救いは決して、取り消されることがない
 この世では旅人、寄留者であるが、天に国籍を持っている
 キリストとともに御国の相続人である
- (2)時代や世相は混乱、腐敗、暗黒に向かう中であっても、キリスト者にとっては
 「この世がすべてではない」「来たるべき世に備えられている祝福と栄光」に注目する やせがまんではなく、神の約束に信頼してそうする
- (3)この世界に、キリストによってのみ救いがある
 他にだれも救い主はいない
 信じ、告白して救われる（不変、普遍、平等な方法）
 キリストの初臨、再臨を救済史の中心に位置付ける
- (4)キリスト信者同士の証しでも、未信者の方々への伝道でも重要なポイントは絞って話す 自分が確信がないこと、分かっていることを伝えることはできない